

指導部通信

No.4

令和4年 6月 9日

丸岡南中学校生徒指導部

交通ルールを確認しよう

新学年がスタートして2ヶ月が過ぎました。新しい環境にも慣れてきたこの時期、例年交通事故が増えるようです。今一度、交通ルールを確認して安全な登下校を心がけましょう。登下校以外の家庭生活の場面でも、安全に行動できるようにしてください。

○自転車乗車時の交通ルール

自転車は、「くるまのなかま」（軽車両）です。交通ルールやマナーを守り、道路標識や信号機に従って運転しましょう。特に次のことに気をつけましょう。

- ・車道の左側を通行する。
- ・歩道では、自転車通行帯内を通行する。（自転車通行帯がない場合は、車道側）
- ・通行時には歩行者を優先する。
- ・二人乗り及び並進はしない。
- ・ヘルメットを確実に着用する。
- ・傘差し運転、スマートフォンやイヤホンを使用しながらの運転は、視界が狭くなったり、危険が察知できなくなったりするので、絶対にしない。

○横断歩道や交差点の横断について

横断歩道や交差点は事故が大変多いところになります。十分に気をつけて横断するようにしましょう。

- ・渡る前に、「止まる」「右左をよく見る」「車が来ないことを確認する」
- ・横断歩道上では自転車から降りて、歩行者の安全を確保しながら渡る。
- ・横断歩道上では自転車はスロースピード、歩行者は走らない。（あわてて渡らない。）
- ・渡り終えるまで「車等が向かってこないか」確認しながら渡る。
- ・うす暗い中では、自転車は「ライトをつける」、歩行者は「反射材等」で自分の存在を他者に知らせる。



止まれ

○危険予測をして、自分の命を守ろう

交通事故を起こそうと思って起こす運転手はいません。事故はいつ我が身に降りかかるかもわかりません。ですが、起きる確率を低くすることができます。それが「危険予測」です。交差点から猛スピードで車が出てくるかもしれない、止まっていた車が急に動き出すかもしれない、自動車の運転手がこちらに気づいていないかもしれない、という意識をもつことが自分の命の安全を守ることにつながります。

【交差点では】

- ・車や自転車、人が出てくると常に予測する。（危険予測）
- ・危険を予測した安全行動をとる。（急に出てきても対応できるように、交差点では止まる、確認する等）

【道路横断の時には】

- ・運転手と目を合わせる。特に車が動くかもしれないと危険予測をし、車の動向に注意する。
- ・手を挙げる。（運転手に気づかせる）
- ・明るくても、ライトをつける（運転手に気づかせる）



本件担当
丸岡南中学校 藤田・上村
TEL 0776-67-7722